

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 111

事務事業名	し尿処理施設維持管理事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境センター		
課長名	濱崎 賢二	内線	54-3100
担当者名	金子 忠敏	内線	54-3100

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050403	環境にやさしいまちづくり
施策		ごみの減量化と適正処理の推進
関連施策		

会計	一般会計		
款	4	衛生費	
項	2	清掃費	
目	3	し尿処理費	
事業コード	020000	し尿処理施設維持管理事業	

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか			生活排水(し尿及び浄化槽汚泥)		
意図	対象をどのような状態にしたいか			し尿及び浄化槽汚泥を処理することにより、生活環境衛生の向上を図り、大村湾の水質保全に努める。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か			許可業者が搬入した各家庭のし尿及び浄化槽汚泥を、ごみや沈砂などを取り除き希釈した後、下水道へ送り処理する。		
事業期間	年度	～	平成	年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大村市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、大村市生活排水処理基本計画					
国・県補助事業に係る本市単独施策	無					

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① し尿搬入量(年間)	計画値	kl	8,310	7,677	7,021	6,732	大村市生活排水処理基本計画
		実績値		9,110	8,914	8,914		
		達成度	%	109.6%	116.1%	127.0%		
成果指標	① し尿汚水の水質目標値達成回数(3ヶ月に1回の水質検査)	計画値	回	4	4	4	4	
		実績値		4	4	4		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	②	計画値						
		実績値						
		達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	50,367	51,104	57,417	59,759	56,097	56,097	56,097	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	524	501	513	506	508	508	508	
一般財源	49,843	50,603	56,904	59,253	55,589	55,589	55,589	
② 人件費(千円)	4,768	4,534	4,232	4,363	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	し尿処理施設の適正管理	し尿処理施設の適正管理	し尿処理施設の適正管理	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	55,135	55,638	61,649	64,122				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	し尿及び浄化槽汚泥の適性な処理に努めている。 ごみを取り除く装置の更新工事を実施予定である。
事業が抱える問題・課題等	施設が老朽化してきているため、修繕費用が年々増加している。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

し尿及び浄化槽汚泥のごみや沈砂などを取り除き、希釈した後、下水道へ送るための必要な経費である。

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性
 現状維持

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	今後も引き続き、し尿・浄化槽汚泥を前処理して下水道へ送り処理する。安定的な運転を行うためには、計画に沿った補修点検や突発的な修繕工事が必要となる。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等	生活環境衛生の向上を図り、大村湾の水質保全に努めるために必要である。			内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。